

**大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）  
実施状況報告書**

選定年度	令和5年度	学校コード	F118210105602	設置等組織名	恐竜学部（恐竜・地質学科（仮称））、生物資源学部（生物資源学科（検討中）、創造農学科（検討中））
大学名	福井県立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	福井県	事業計画名	福井県立大学 学部の新設、既存学部における学科の新設（2件）

**1. フェーズ別の計画及び取組状況**

フェーズ別の事業計画と取組状況。年次別のお自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に改訂点を記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）との対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）との対応
フェーズ1	【令和5年度】 令和7年度への新学部・新学科開設に向けた検討体制の構築 ①認可申請等に向けた事務現地の整備（令和5年度） ②進学説明会、オープンキャンパスの実施（令和5年7～9月） ③広報活動の実施（令和5年度） ・高校訪問の実施（令和5年7～9月）	【令和5年度】 令和7年度への新学部・新学科開設に向けた検討体制の構築 ①認可申請等に向けた事務現地の整備（令和5年度） ②進学説明会、オープンキャンパスの実施（令和5年7～9月） ③広報活動の実施（令和5年度） ・高校訪問の実施（令和5年7～9月）	R5年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2 前倒し	認可申請又は届出 令和6年3月 恐竜学部恐竜・地質学科（仮称） 設置認可申請予定 令和6年3～12月 生物資源学部生物資源学科（検討中）、創造農学科（検討中） 学科の設置届出予定	令和6年3月 恐竜学部恐竜・地質学科（仮称） 設置認可申請 令和6年7月 生物資源学部創造農学科（検討中） 設置届出	○年度自己評価 リストから選択してください。
フェーズ2 後倒し	【令和6年度】 令和2年度への新学部・新学科開設に向けた検討体制の構築 ①認可申請等に向けた事務現地の整備（令和6年4月） ②学部設置に係る認可申請支援業務委託（補正申請）の実施（令和6年7～9月） ③進学説明会、オープンキャンパスの実施（令和6年7～9月） ④広報活動の実施（令和6年度） ・各種進学サイトへの掲載（令和6年4月頃）、SNS広告の実施（令和6年7～9月） ⑤地域の企業や他機関との連携のための事前調整（令和6年度） ⑥海外発掘調査事前調整（令和6年度） 【認可申請】 令和6年4月 認可申請に向けた学部開設（2件）のうち生物資源学部生物資源学科（検討中）について、教員確保が困難となりかねないため、新設をやめさせること。（R6.8.6承認）	【令和6年度】 令和7年度への新学部・新学科開設に向けた検討体制の構築 ①認可申請等に向けた事務現地の整備（令和6年4月） ②学部設置に係る認可申請支援業務委託（補正申請）の実施（5月） ③進学説明会、オープンキャンパスの実施（8月） ④広報活動の実施（令和6年度） ・各種進学サイトへの掲載（5～3月）、SNS広告の実施（5～3月） ⑤地域の企業や他機関との連携のための事前調整（令和6年度） ⑥海外発掘調査事前調整（7/24～8/6 アメリカ、8/13～22 カナダ） 【認可申請】 令和6年4月 認可申請に向けた学部開設（2件）のうち生物資源学部生物資源学科（検討中）について、教員確保が困難となりかねないため、新設をやめさせること。（R6.8.6承認）	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2	【令和6年度】 新学生登校などの整備 ①恐竜学部棟の整備（令和6年） ・場所：福井県勝山市（福井県立恐竜博物館隣接地）・延床面積：約4,200m <sup>2</sup> （RC、3階建て） ②生物資源学科（仮称）研究施設の改修等（令和6年度） ・場所：福井県木平町（木平寺キャンパス内） ③創造農学科（仮称）農産物販売化棟の整備（令和6年度） ・場所：福井県あわら市（あらわらキャンパス内）・延床面積：約300m <sup>2</sup>	【令和6年度】 新学生登校などの整備 ①恐竜学部棟の整備（令和6年） ・場所：福井県勝山市（福井県立恐竜博物館隣接地）・延床面積：約4,200m <sup>2</sup> （RC、3階建て） ②生物資源学科（仮称）研究施設の改修等（初年度）（R6.8.6承認） ・場所：福井県木平町（木平寺キャンパス内） ③創造農学科（仮称）農産物販売化棟の整備（令和6年度） ・場所：福井県あわら市（あらわらキャンパス内）・延床面積：約300m <sup>2</sup>	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
開設又は定期増	令和7年4月 恐竜学部恐竜・地質学科（仮称）開設予定（入学定員30人、理学関係） 生物資源学部生物資源学科（検討中）開設予定（入学定員50人、農学関係） 生物資源学部創造農学科（検討中）開設予定（入学定員30人、農学関係）	令和7年4月 恐竜学部恐竜・地質学科開設（入学定員30人、理学関係） 令和7年4月 生物資源学部創造農学科開設（入学定員30人、農学関係）	
フェーズ3 後倒し	【令和7年度】 新学部棟などの整備 ①恐竜学部棟の整備（2年目） ・場所：福井県勝山市（福井県立恐竜博物館隣接地）・延床面積：約4,200m <sup>2</sup> （RC、3階建て）	【令和6年度】 新学部棟などの整備 ①恐竜学部棟の整備（2年目） ・場所：福井県勝山市（福井県立恐竜博物館隣接地）・延床面積：約4,200m <sup>2</sup> （RC、3階建て）	○年度自己評価 リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和6年3～12月 70人減員に係る届出予定 令和7年3～12月 40人減員に係る届出予定	令和6年7月 生物資源学部創造農学科学生募集停止の報告（入学定員25人、農学関係） 令和7年度 生物資源学部創造農学科学生募集停止	○年度自己評価 リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
		学部学科名	恐竜学部恐竜・地質学科

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iv) 設置計画実行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

## 3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や設備充実率が適正であることを含めた要件を満たすことが確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 確認を受けている	<input type="checkbox"/> 確認の対象に該当しない	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのため体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑨	入学定員が2名以上増加する計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑩	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行ふことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input type="checkbox"/>	
⑪	大学の総収容定員充足率（在籍生�数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑫	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	恐竜学部恐竜・地質学科		

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画である。	<input type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック
--	--

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画的具体化に努めることにて、その進捗報告を行なうこと。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成事業の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	<input type="checkbox"/> 計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した <input checked="" type="checkbox"/> チェック
---	--

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でない。	<input type="checkbox"/> 認定を受けておらず申請する意向もない <input checked="" type="checkbox"/> チェック
---	--

4. 検査要項における確認項目の計画及び取組状況  
令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。  
計画の進捗の遅れや実施困難のある場合は、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

[A：連携を通じた教育体制の整備と実施】(選択開設科目等に限らない)

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業との連携について、講師として招こいやインターネットで訪問することを計画している。また、自治体（県や市町村等）と連携して域内ファイルにおける実習活動の実施や小中高生の探求学習の支援を行う。これに加えて、県が実施する未来創造プロジェクト「ふい稚進事業」を通じて、地元企業とのPBLや企画制作や講義を行なう。	(企業や自治体と連携) ・福井県立恐竜博物館から恐竜学部への協力をR5.11に確認し、「博物館実習」や「恐竜学特論」において、博物館で実習や講義を行なう。 同研究会実施で、地元産業に関する実践的な学びを行なって検討する。海外大学との連携し、 ・県測量設計業協会や県情報システム工業会から講師派遣による「応用地質学」やインターンシップなどの実践的な学びで、恐竜学部では海外大学や研究機関の教員によるオンラインでの講義を予定している。この講義では、海外実習調査の最先端の知識や各领域的地質学的知識について学ぶ。また、実際に海外を訪問して、実習調査（海外大学との連携） 查や現地の施設見学を行うことを検討しており、実習調査能力や海外でのコミュニケーション能力の向上を ・タイのナコンチヤン・チャバト大学附属珪化木鉱物資源東北調査研究所とR5.10に協定を締結し、双方の学生を目指す。また、他大学との連携としては、単位互換制度を利用し、選択できる組織を今後も増やしていくことを ・地元の地質学の専門家と連携した単位は、単位互換制度を利用し、社会人の方へも対象とした単位互換制度を実施する。 ・恐竜学部教員が行う専門科目等16科目を単位互換制度を利用して、県内協定校に開放する予定。 ■上記が期待できる。	課題（理由）とその対応

[B：多様な入学者の確保に向けた取組]

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数倍）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受け入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子学生確保に向けた取組として、令和4年度に福井県立恐竜博物館が実施した「恐竜女子学院2022」に挙げることができる。このイベントは、恐竜など古生物に关心を持つ女子学生（小・中・高生）21名が恐竜博物館に集い、現役の女性研究者などの交流を通して、自然科学に対する理解を深めた。恐竜学部においても、恐竜博物館と連携し、博物館来館者をきっかけとした恐竜への興味・関心を育む。 社会人の受け入れとしては、科目別修生・聽講生制度を実施することができる。平成30年度から令和4年度までの過去5年間平均で、科目別修生・聽講生が約100人、聽講生が約41人受け入れている。また、入試において、社会人特別選抜や学年編入試験について検討する。 留学生の受け入れについて、恐竜学部では、特別選抜の一につれて「私費外国人留学生特別選抜」を行う。入学後については、チューター制度を利用し、留学生1人につき、本学日本人学生1人を付け、履修登録や生活をサポートする。	(女子学生確保に向けた取組) ・R5.2.1路東高校が主催する女子学生向けSSHイベントへ参加し、恐竜や地球科学への興味・関心を育んだ。 (地域の初等中等教育段階の学校との連携) ・恐竜学部のキャンパスが設置される勝山市内の高校への研究学習支援を行なった。 (社会人学生的受け入れ強化に向けた取組) ・社会人特別選抜により、社会人の募集を行う計画 (留学生の受け入れ強化に向けた取組) ・私費外国人留学生特別選抜により、留学生の募集を行う計画	課題（理由）とその対応

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福井県立大学
		学部学科名	恐竜学部恐竜・地質学科

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

- iv) 設置計画実行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

## 3.申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や設備充実率が適正であることを含めた要件を満たすことが確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/>

- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのため体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑧ 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑨ 入学定員が2名以上増加する計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑩ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行ふことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

- ⑪ 大学の総収容定員充足率（在籍生�数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

- ⑫ フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	恐竜学部恐竜・地質学科		

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画である。

■ 計画通りに進んでいる ■ チェック

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画的具体化に努めることにて、その進捗報告を行なうこと。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成事業の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機関が実施する会議に参加すること。

■ 計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した ■ チェック

⑯ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でない。

■ 認定を受けておらず申請する意向もない ■ チェック

#### 4. 検査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合は、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### A：連携を通じた教育体制の整備と実施（添付開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業との連携について、講師として招こいやインターネットで訪問することを計画している。また、自治体（県や市町村等）と連携して域内フィールドにおける実習活動の実施や小中高生の探求学習の支援を行なう。これに加えて、県が実施する未来創造プロジェクト「ふいがわ産業未来創造事業を通じて、地元企業とのPBLやアカデミック・リサーチ・シップなどの実践的な学びを行なうため、県測量設計業協会や県情報システム工業会から講同研究会実施、地元産業への実践的な学びを行なうことを検討する。海外大学との連携として、恐竜学部では海外大学や研究機関の教員によるオンラインでの講義を行なっている。この講義では、海外発信調査の最先端の知識や各领域的地質学的知識について学ぶ。また、実際に海外を訪問して、発掘調査を行なう。海外大学との連携	・「博物館実習」「恐竜学特論」において、福井県立恐竜博物館で実習や講義を行なうため、調整を実施。 ・「広用地質学」「インターネットシップなどの実践的な学びを行なうため、県測量設計業協会や県情報システム工業会から講同研究会実施。 ・地元産業への実践的な学びを行なうことを検討する。海外大学との連携として、恐竜学部では海外大学や研究機関の教員によるオンラインでの講義を行なっている。この講義では、海外発信調査の最先端の知識や各领域的地質学的知識について学ぶ。また、実際に海外を訪問して、発掘調査を行なう。海外大学との連携	・大都市と連携し、和歌山県資料館などでフィールド実習活動を行なうため、調整を実施。 ・海外発信調査の最先端の知識や各领域的地質学的知識について学ぶ。また、実際に海外を訪問して、発掘調査を行なう。海外大学との連携

##### B：多様な入学者の確保に向けた取組

- チェック a. 入学者選抜における科目的見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数倍）に向けた取組
- チェック c. 地域の中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リクレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受け入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子学生確保に向けた取組として、令和4年度に福井県立恐竜博物館が実施した「恐竜女子学院2022」を挙げることができる。このイベントでは、恐竜など古生物に关心を持つ女子学生（小・中・高生）21名が恐竜博物館に集い、現役の女性研究者などの交流を通して、自然科学に対する理解を深めた。恐竜学部においても、恐竜博物館と連携し、博物館来館をきっかけとした恐竜への興味・関心を育て、恐竜→古生物→地球科学と密接なつながりへの関心を予定している。 社会人の受け入れとしては、科目等修生・聽講生制度を実施することができる。平成30年度から令和4年度までの過去5年間平均で、科目等修生・聽講生制度を実施ことができる。平成30年度から令和4年度において、社会人特別選抜や学年編入制度について検討する。また、入試において、社会人特別選抜や学年編入制度についても検討する。 留学生の受け入れについて、特に留学生特別選抜では、特別選抜の一につれて「私費外国人留学生特別選抜」を行う。入学後については、チューター制度を利用し、留学生1人につき、本学日本人学生1人を付け、履修登録や生活をサポートする。	（女子学生確保に向けた取組） ・R.2.1.姫路東高校が主催する女子学生向けSSHイベントに参加し、恐竜や地球科学への興味・関心を育んだ。 ・SNS(X、Instagram)の運用を開始し、女子学生を含む多くの学生等へ情報発信を行った。 ・県内の小中等教育段階の学校との連携 ・県内の小中等教育段階の学校との連携 ・社会人特別選抜により、社会人2名が合格し入学した。 （留学生の受け入れ強化に向けた取組） ・留学生の受け入れ強化に向けたセミナーを開催 （地域の他大学との連携した科目） ・恐竜学部教員が行う専門科目等16科目を単位互換制度を活用し、県内協定校に開放する予定。	（社会人大学生の受け入れ強化に向けた取組） ・世界の有名恐竜研究者5名を委員教授へ委嘱し、恐竜学部とともに共同研究や講義・実習を予定。R.6.12およびR.7.3を計画している。本学においては、在学中に県内協定校（7校）において修得した単位を他の大学で認定する制度を利用して、自身の研究のどちらかの履修や課題解決能力の向

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
		学部学科名	生物資源学部生物資源学科（検討中）

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iv) 設置計画実行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

## 3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことが確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 確認を受けている	<input type="checkbox"/> 確認の対象に該当しない	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのため体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが要る。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。		本事業の転換に係る要件「新設学科の基幹教員の構成が、定員減を行う全ての学科とそれぞれ3割以上異なる」を満たすため、教員構成の変更を含む学科再編の学部案について大学内で検討中。
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑨	入学定員20名以上増加する計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑩	事業計画の選定が日から4年を経過する年を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行ふことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）		本事業の転換に係る要件「新設学科の基幹教員の構成が、定員減を行う全ての学科とそれぞれ3割以上異なる」を満たすため、教員構成の変更を含む学科再編の学部案について大学内で検討中。
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	
⑪	大学の総収容定員充足率（在籍生�数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	
⑫	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/>	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	生物資源学部生物資源学科（検討中）		

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

■ 計画通りに進んでいる ■ チェック

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることにて、その進捗報告を行なうこと。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成事業の実施に関する取組（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

■ 計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した ■ チェック

⑯ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でない。

■ 認定を受けており申請する意向もない ■ チェック

#### 4. 検査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画に進捗の遅れや実施困難な事項がある場合は、課題（理由）との対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### A・連携を通じた教育体制の整備と実施（添付資料欄等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）との対応
特任講師として務務者（味の素（株）、花王（株）、東洋紡（株）、天野エンザイム（株）、（株）美十）が、専門講義科目である「応用微生物学」や「生体高分子化学」等の講義の一環を担当し、研究開発現場での経験を学生に伝える授業を実施する。また、福井県と連携し、未来協働プラットフォームひいき推進事業を通じて、地元企業によるPBL件と同様の取組みに加えて情報デジタル機器の実習などをPBLとして実施する。改組後では、既存の取組みに加えて情報デジタル機器の実習などを取り組みます。PBL件と同様の取組みを進める。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備に関しては、「暮らしを支える生物資源」と福井県内の大学の共通教科目として7年度に開講予定である。韓国大邱カトリック大学医療保健大学と大学間交流を締結し、交換留学生の募集を開始している。海外大学との連携としては、これまで韓国大邱カトリック大学医療保健大学と学部間交流を締結してきたが、大学間交流に格上げし、交換留学生を募集すること計画している。	R5年度は、現生物資源学科において、味の素（株）、花王（株）、東洋紡（株）、天野エンザイム（株）、（株）美十から実務者講師を招致し、研究開発現場での経験を学生に伝える講義を実施した。また、「FAA（福井アカデミックアライアンス）」の課題に関するPBLとしては、R5に学内に新設した情報センターにおいて（株）マネビ（株）ドットコムとの協力を利用した「広告戦略の実践」などの取り組みを進めている。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備に関しては、「暮らしを支える生物資源」と福井県内の大学の共通教科目として7年度に開講予定である。韓国大邱カトリック大学医療保健大学と大学間交流を締結し、交換留学生の募集を開始した。	課題（理由）との対応

##### B・多様な入学者の確保に向けた取組

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数倍）に向けた取組
- チェック c. 地域の中等教育の実施や学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受け入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）との対応
入学者選抜については、アドミッションにおける科目の見直し	R6年度入試において実施した総合型選抜では、2名の合格者が現生物資源学科へ入学した。R6年度に現生物資源学科に入学した1年次生は、51名でうち32名（62.7%）が女子であった。地域の初等中等教育との連携に関しては、R4年度に引き続き、SSH指定校である藤島高校および高志高校に教員11名を派遣し、高校生の研究活動への指導や評価を行なった。また、県立高志中学校の1年生90名を受け入れ、体験学習を実施した。留学生の受け入れ強化に関しては、大学推薦による国費留学生として、博士後期課程の留学生1名を受け入れ、R7年度も、1名の国費留学生（博士後期課程）の受け入れを計画している。学科定員が50名となるため、総合型選抜の定員を3名から8名へと変更し、多様な学生を受け入れる体制を整える計画をしている。また、県内高校への開放講義を増やし、地域の初等中等教育との連携強化を行なう。社会人学生の受け入れ強化に関しては、単位一括認定制度の導入に加え、大学院博士後期課程の入試制度を見直し、社会人受験生の受験科目の変更を検討している。	課題（理由）との対応

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
		学部学科名	生物資源学部創造農学科

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

## 3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や設備充実率が適正であることを含めた要件を満たすことが確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

- 確認を受けている
- 確認の対象に該当しない

- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

- 計画通りに進んでいる

産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのため体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

- 計画通りに進んでいる

特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

- 計画通りに進んでいる

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

- 計画通りに進んでいる

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

- 計画通りに進んでいる

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

- 計画通りに進んでいる

⑧ 入学定員が2名以上増加する計画であること。

- 計画通りに進んでいる

事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

- 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍生�数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

- 計画通りに進んでいる

⑪ フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

- 計画通りに進んでいる

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	生物資源学部創造農学科		

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

■ チェック

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画的具体化に努めることにて、その進捗報告を行なうこと。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成事業の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機関が実施する会議に参加すること。

■ チェック

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した ■ チェック

⑯ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でない。

認定を受けておらず申請する意向もない ■ チェック

#### 4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合は、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### A：連携を通じた教育体制の整備と実施（選択科目等に限らない）

- a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- b.開運分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- c.開運分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
福井県と連携し、未来協働プラットフォームひく、推進事業を通して、地元企業によるPBL2件と共同研究1件を実施し、地元産業に関して現場での実践的な学びを構築している。PBLの一例として、上所述したあわら丘陵地特産フルーツを使用したふくこぎフルーツテーマ開発プロジェクトとして、学生実習での取り組みやカエ森のめぐみにおいてイベントを通じて販売した。また、地場農産物を活用した新たな商品開発プロジェクトであるトマトソースを活用したトマトソースの開発については、福井地元の共同開発により商品化に成功（商品名：三里沢ドレッシング）。さらに、現場に配慮した堆肥製造については、福井県農林水産省、JA福井県、JA越前だけふ、レゴー株式会社と共同研究を開始するなど、新学科に向けて企画や自治体との連携を進めている。食の6次産業化プロジェクトや育成プログラムについては、レベル3認定者を3名輩出しており、今後、さらに一般社会人向け科目等修生等へと受けられるよう準備している。	R5年度の取り組み実績および進捗状況については、バイオキャスト社との共同開発により農業資材として販売を開始し、ふくこぎフルーツテーマ開発プロジェクトとして、学生実習での取り組みやカエ森のめぐみにおいてイベントを通じて販売した。また、地場農産物を活用した新たな商品開発プロジェクトであるトマトソースを活用したトマトソースの開発については、福井地元の共同開発により商品化に成功（商品名：三里沢ドレッシング）。さらに、現場に配慮した堆肥製造については、福井県農林水産省、JA福井県、JA越前だけふ、レゴー株式会社と共同研究を開始するなど、新学科に向けて企画や自治体との連携を進めている。食の6次産業化プロジェクトや育成プログラムについては、レベル3認定者を3名輩出しており、今後、さらに一般社会人向け科目等修生等へと受けられるよう準備している。	課題（理由）とその対応

##### B：多様な入学者の確保に向けた取組

- a.入学者選抜における科目的見直し
- b.女子学生の確保（志願者数倍）に向けた取組
- c.地域の中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- d.社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リクレント・リスキリングへの対応）
- e.留学生の受け入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜については、現学科において、品種改良、農業経営など農学を志望する学生がこれまで主要なターゲットであった。新学科では、農学科の特徴ではなくサービス業や食品加工開発など、これまで以上に多様な能力の養成が求められる。そのため、推薦入試、総合型入試、一般選抜前期入試、3年次編入入試など多様な入試に加え、一般選抜後期入試の実施計画している。女子学生については、現学科では、学生数116名のうち65名である(R.S.現在)、十分確保できている。地域の初等中等教育との連携については、R4年度では、県内の高校7校と課題探求活動授業のコラボレーションの協力を実施し、8月には仁愛女子高等学校グローバルサミットの生徒15名（教諭3名）を、3月には、県立高志中学校の3年生30人（教諭2人）を受け入れて実習・講義を行った。今後も、地域の小中高学校への出前講座や探求学習の支援を通して、多様な入学者の確保に努めていく。社会人学生の受け入れについては、3年次編入入試を新たに学士種入学試験として実施し、リクレント・リスキリングへの対応を施していく計画である。	入学者選抜については、現創造農学科の活動実績を振り返り、教育研究内容、学生募集・入試方法などを学年最後の新学科の方向性を検討し、R5年度は一般選抜において後期日程を導入した。地域の初等中等教育との連携については、現学科では、高校に出向いての出張講義や入試説明会の実施、オープニングセミナーの拡充、収穫祭を通して、研究活動状況と研究の面白さを中高生に伝え、科学に興味を持ち研究志向の学生の入学につなげることができおり、新学科でも拡充していく。社会人学生の受け入れ強化に向けた取組については、R8年度から3年次編入入試を新たに学士種入学試験として実施し、リクレント・リスキリングへの対応を行はず定である。	課題（理由）とその対応

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	生物資源学部創造農学科		

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/>
------	-------------------------------------

## 3.申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や設備充実率が適正であることを含めた要件を満たすことが確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/>

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのため体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑧ 入学定員が2名以上増加する計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行ふことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍生�数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

⑪ フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
------------	-------------------------------------

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福井県立大学
学部学科名	生物資源学部創造農学科		

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	<input type="checkbox"/>
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>
選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることによる、その進捗報告を行なうこと。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成事業の実施に関する計画（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/>
文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でない。	<input type="checkbox"/>
認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 検査要項における確認項目の計画及び取組状況  
令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。  
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合は、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

[A：連携を通じた教育体制の整備と実施] (選択科目等に限らない)

- a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
福井県と連携し、未来協働プラットフォームひくい推進事業を通して、地元企業によるPBL2件と共に研究1件を実施し、地元産業に関して現場での実践的な学びを構築している。PBLの1例として、上述したあわら丘陵地特産フルーツを使用した合材や加工法を検討、商品化の提案まで行っている。また、開運分野に強みを持つ地域の他の大学と連携した科目の整備・実施	旧学科において、福井県と連携し、未来協働プラットフォームひくい推進事業を通じて、地元企業によるPBL3件と共に研究6件を実施し、地元産業に関して現場での実践的な学びを構築した。PBLの1例として、上述したあわら丘陵地特産フルーツを使用した「ふくいぎフルーツプロジェクト」開発プロジェクトだけでなく、「地場農産物を使用した新たな商品開発プロジェクト」など新規商品開発に向けた合材や加工法を検討、商品化の提案まで行っている。また、開運分野に強みを持つ地域の他の大学と連携した科目の整備・実施	課題（理由）とその対応

[B：多様な入学者の確保に向けた取組]

- a. 入学者選抜における科目の見直し
- b. 女子学生の確保（志願者数倍）
- c. 地域の中等中等教育段階の学年の連携（出張授業の実施等）
- d. 社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- e. 留学生の受け入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜については、現学科において、品種改良、農業経営など農学を志望する学生がこれまで主要なターゲットであった。新学科では、農学の知識だけではなくサービス業や食品加工開発など、これまで以上に多様な能力の蓄積が求められる。そのため、推薦入試、総合型入試、一般選抜前期入試、3次面接、入学試験などを複数実施して、多様な入試に加え、一般選抜後期入試を5名を実施した。旧学科の女子学生については、学生数121名のうち女子生徒数は69名であり、十分確保している。地域の初等中等教育との連携について、地域の小中高学校との連携を実施している。ご当地企業等との連携を通じて、学生自身が自分たちの手で地元の魅力や価値を創造し、地域農業の活性化を目指す。今後、一般社会人が科目等履修修了で受け取れるよう準備する。	これまで入学者選抜については、品種改良、農業経営など農学を志望する学生が主要なターゲットであった。新学科では、農学の知識だけではなくサービス業や食品加工開発など、これまで以上に多様な能力の蓄積が求められる。そのため、推荐入試8名、総合型入試11名、一般選抜後期入試15名の多様な入試に加え、一般選抜後期入試5名を実施した。旧学科の女子学生については、学生数121名のうち女子生徒数は69名であり、十分確保している。地域の初等中等教育との連携について、地域の小中高学校との連携を実施している。ご当地企業等との連携を通じて、学生自身が自分たちの手で地元の魅力や価値を創造し、地域農業の活性化を目指す。今後、一般社会人が科目等履修修了で受け取れるよう準備する。	課題（理由）とその対応

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福井県立大学
-------------	-------	-----	--------

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
実施状況報告書留意事項（R6年度）	○本事業の転換に係る要件を満たすため、教員構成の変更を含む学科再編の学部案について大学内で検討中である。令和7年度開設予定であるので、事業計画に支障がないように、早急に学部再編案を取りまとめることが求められる。	事業計画「福井県立大学 学部の新設、既存学部における学科の新設（2件）」について、「既存学部における学科の新設（2件）」のうち生物資源学部生物資源学科（仮称）にかかる計画について、学内検討の結果、教員の確保が困難であると判断したため、生物資源学科の新設をとりやめる。

大学名	福井県立大学
-----	--------

## 1.本事業対象となる学部等の状況

〈合計〉

大学名	福井県立大学
-----	--------

本事業対象となる学部等の個数 3

## 1.本事業対象となる学部等の状況

〈内訳〉

(1)	改組内容	学部の新設
	学部学科名	恐竜学部恐竜・地質学科

大学名 福井県立大学

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	生物資源学部生物資源学科（検討中）

大学名 福井県立大学

(3)	改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
	学部学科名	生物資源学部創造農学科

大学名 福井県立大学

## 2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大学名	福井県立大学
-----	--------

### 3.大学（学士課程）の状況

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	430	430	470														
		入学者数	人	469	493	522														
その他の学期		入学定員	人	***	***	***														
		入学者数	人	***	***	***														
入学者合計	入学定員(A)	入学定員(A)	人	430	430	470														
		入学者数(B)	人	469	493	522														
	入学定員充足率(B/A)	倍	1.09	1.15	1.11															
収容定員等	収容定員(C)	人	1670	1700	1770															
	編入学定員	人	10	10	10															
	在籍者数(D)	人	1839	1886	1996															
	編入学者数	人	7	4	6															
	収容定員充足率(D/C)	倍	1.10	1.11	1.13															

### 4.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定													
項目	単位																		
外部資金獲得額	千円	165,121	124,084	204,067	192,453	357,213	319,466	399,265											
項目	単位																		
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均)(E)	千円	187,214																	
本事業による助成金の額(F)	千円	455,138																	
フレーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	198,592																	

### 特記事項

--